

## 令和6年(2024年)1月

発行/鶴見区老人クラブ連合会

クラブ数115 総会員数7,107名

【男性:2,440名 女性:4,667名】(令和5年4月1日現在)

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央4-37-37

リオベルデ鶴声2F 鶴見区社会福祉協議会内

TEL045-505-5581 FAX045-505-3003

発行人/日向 邦夫

編集協力・印刷:(株)博報社関東本社

厚木市愛甲1-8-39 ☎046-280-6001

# 悠 悠

## 第45号

決勝戦  
礼儀正しい  
対戦挨拶



第1投目



ナイスショット

# 秋季三大スポーツ大会

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています


# 年頭のごあいさつ



鶴見区老人クラブ連合会

会長 日向 邦夫

会員の皆様、新年あけましておめでとございます。昨年は当会の事業を滞りなく実施することができましたこと会員の皆様のご尽力とご協力の賜物と深く感謝、御礼申し上げます。

鶴見区老人クラブ連合会では、本年度の事業計画について、過日の区老連総会で提案しました通りです。我が国は超高齢社会を迎え、総人口に占める高齢者の割合が急増する中、高齢者が住み慣れた地域で健康に生きがいを持って生活するためには老人会の活動に参加することが不可欠と思います。その中で、老人クラブの入会者が減少し、歯止めがかからない状態です。なぜでしょうか。理由は色々あると思いますが、「老人クラブに

魅力を感じられないから」の声が多くあります。「魅力」とは「人の心を引き付け夢中にさせる力」を意味するそうです。

令和4年度に横浜市老人クラブ連合会が策定した「市老連活性化プロジェクト」(会員加入促進・会員減少防止の取り組み)を設定して体制の強化を図っています。鶴見区老連としての対応は、「魅力ある活動の紹介」です。これからも、持続可能な運営を目指して、地域の方々との連携を密にし、また新しい活動にもチャレンジしながら、これからも会員の皆様と共に活動を続けたいと考えておりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

続いて健康寿命の延伸について、健康寿命は平均寿命に比べ男性で約9年、女性では約12年短くなっている状況にあります。健康状態からフレイル状態となる原因として「身体的要因」「心理的要因」「社会・環境要因」があります。身体的要因の特徴は、筋力の低下、歩行能力の低下、咀嚼力の低下など。心理的要因の特徴は、うつ傾向、趣味がない、主観的な幸福感が低いなど。社会・環境要因の特徴は、親しい友人がいない、社会的役割が少ない、社会的接触がない、友人・親族との交流が少ないなど。これらの要因を予防していくことが健康寿命の延伸につながると言われています。是非、老人クラブの活動を通じて健康寿命を延ばし、楽しい活動を展開していきましょうとの有意義な講義がありました。最後に小室副会長より終演挨拶があり、閉会となりました。

(編集委員 石田 英雄)



金子晴由氏



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

# 新年のごあいさつ



鶴見区長 渋谷 治雄

新年あけましておめでとう  
ございます。皆さまにおかれ  
ましては、輝かしい新春をお  
迎えのこととお慶び申し上げ  
ます。

鶴見区老人クラブ連合会の  
皆さまにおかれましては、地  
域の高齢者福祉、地域づくりに  
貢献いただいております、心か  
ら感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス  
感染症が5類に移行し、様々  
な老人クラブの活動が再開さ  
れました。参加されている皆  
さまの笑顔を見るとき、人  
と人とのつながりが皆さまの  
元気の源だと感じるととも  
に、老人クラブの皆さま方の  
活動が、高齢者の健やかな暮  
らしを支えるうえで欠かさず  
このできない力強い活動であ  
ることを実感しております。  
また、老人クラブで取組ん

でいる友愛活動など「地域を  
豊かにする社会活動」は、日  
頃から地域の方向士が「顔の  
見える関係」を築くことにつ  
ながっており、防災などいざ  
というときの助け合いにも  
大きく寄与していると感じ  
ています。

この1年も、皆さまが培っ  
てこられた知識や経験を生か  
し、様々な社会活動や交流を  
通して、元気に過ごされるこ  
とを願っております。

引き続き、区役所も一丸と  
なつて皆さまの暮らしを守り  
ながら、誰もが自分らしさを  
発揮し、安心で、明るく元気に  
暮らすことができる「いつま  
でも住み続けたいまち鶴見」  
を目指し、より一層の取組を  
進めてまいります。

本年もどうぞよろしくお願  
いいたします。

## 会長研修会開催される

師走も半ばの12月14日(木)鶴見公会堂において「令和5年度会長研修会が開催されました。日向鶴見区老連会長の挨拶の後、横浜市老連前事務局次長の金子晴由氏から「会長など担い手が楽しく運営できる組織づくり&健康寿命の延伸」と題して、講義が行われました。まず老人クラブを楽しく運営するための組織づくりについて、「老人クラブに参加するメリット」「組織運営において会長などが頑張る楽しく運営できるようにするために」「楽しい組織にするための方法」などの紹介がありました。

一方、会長など担い手のなり手がいない理由としては、「負担感が大きい」「責任が重い」「事務作業が面倒」「会長など役員の仕事をみているとすごく大変そうだ」などマイナスのイメージで捉えられていることが大きな要因だと思われます。このマイナスイメージを払拭するため



日向会長

には、コミュニケーションを密にすることにより会員みんなでの会の運営を考えていくこと、仕事を分担し会長など特定の人への負担を軽減することの必要性などがあげられました。また、会員が望む活動を展開していくことがみんなの喜びにつながっていきます。そのためには、単位クラブだけでは活動の範囲が限られてしまうことから周辺のクラブと連携することや活動ごとに責任者を決めて活動の内容を広げていくなどの工夫が必要であるとの話しがありました。

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

# 鶴見区老連 新任副部長 就任報告

(敬称略)

鶴見区老連の4つの部会「総務部会・女性部会・文化活動部会・健康づくり部会」において、各副部長職が空席でしたが、令和5年10月6日の地区老連会長連絡協議会に於いて区老連の発展と若返りを図る意味から、4つの部会に新たな副部長の就任発表がありました。新たに就任されます4名には区老連日向会長より委嘱状が授与され、期待と祝福の言葉が新任の副部長に送られました。彼らのリーダーシップと活躍によって、鶴見区老連の未来が輝き、コミュニティへの貢献が一層高まることが期待されます。

(文 / 区老連副会長 桑島 昭雄)



総務副部長

鈴木 利彦  
(市場地区)



女性副部長

高橋 豊子  
(市場地区)



文化活動副部長

小幡 光男  
(下末吉地区)



健康づくり副部長

小山 英雄  
(駒岡地区)



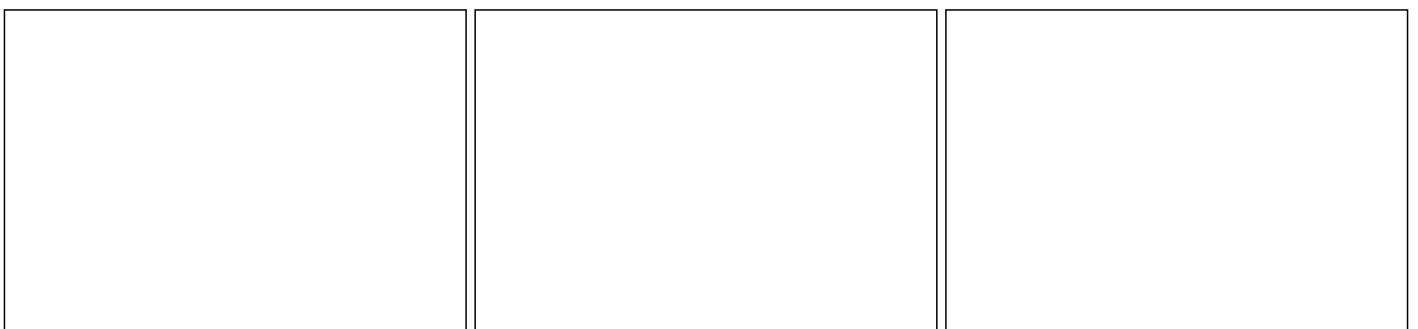
今年度も日帰りバス研修会や映画上映会はとても評判が良かった。今後も続けてほしいとの要望があったので継続していきたいと思います。

私達女性委員の仕事は頑張る人の応援団になって一緒に進むこと、少しでも地域の活性化に携わっていきたいと思います。そして見えない襷を見える襷にしたいと思っています。

(女性委員 流石 悦子)



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



## 令和5年度 横浜シニア大学閉講式を終えて

去る、5月25日関内ホールにおいて、かがやきクラブ横浜による合同開講式に始まり、5月30日鶴寿荘で鶴見区老連のシニア大学開講式と講座をスタートしました。

横浜市老連の共通7講座、区老連自主2講座を実施し、7月25日閉講式を終えました。受講者24名、皆勤者10名、修了証(9講座中6講座以上受講)21名でした。

男性6名、女性18名、シニア大学を過去に受講している方は、6名おりました。又、24名中老人クラブ加入者は、17名、未加入者は7名でした。運営委員により受講者に感想を聞いたところ、共通講座のSDGs基礎知識は、難し



いと思っていましたが、講師の方が時間の半分をスマホ・ネットのリスクについて、ていねいに解説してくださったのが良かったとの意見が多く聞かれました。

その他、クーリング・オフ、遺言、相続等々が新しく盛り込まれ、資料も解り易く、講座全体が大変有意義であったとの意見が多く聞かれました。

受講者が各地区、各クラブに戻ってシニア大学の内容をお知り合い、友達にお話していただきたいと思いません。それが老人クラブ会員増強の一助になればと思えます。来年度シニア大学にぜひご参加をお願いします。

(横浜シニア大学運営委員会委員長 高橋 健次)

## 女性リーダー研修会

10月11・12日の二日間に開催された研修会は104名の女性委員参加者が、情報周知・引継ぎを通したリーダーとしての職務などの身近な役割についてのブレインストーミングを実施致しました。結果「一人でも多くの方に参加して頂けるような行事はないか?」「役員になると用事が多く負担だ」「何をするのかわからない」、活動とし

ては手芸、カラオケ、食事会、輪投げ、グラウンド・ゴルフ、ストレッチ体操などいろいろと活動していますが女性委員としての仕組みがわからない、引き継ぎがなく名前だけの委員なので、どうしたら良いか途方に暮れるだけ等々、本人たちの悩みもあった。かかわりのない人も手伝えるような仕組みを作って欲しい。



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

## 令和5年度 第2回寺尾第二地区 認知症サポーター養成講座を終えて

7月19日(水)に馬場地区ケアプラザで認知症サポーター養成講座を開催しました。

馬場地域ケアプラザは交通アクセスが悪いということで、当初の参加予定者は20名前後でしたが、地元老人クラブのご尽力により、5クラブで会員34名、一般6名で合計40名の方がこの講座に参加していただきました。特に、今迄一般の方が参加された講座では、昨年6月以



降、駒岡地区1名でしたので、今回の6名という数字は画期的でした。現在区老連がかかえている会員数の減少の課題に歯止めをかけ、今回の講座を通して新規会員を増やす大きなチャンスにつなげて行ければと考えております。

令和5年度は、地域密着型で活動し、区内における9ヶ所の地域ケアプラザと連携し、講座を開催することが出来ました。

今後の目標は、会員の方だけでなく、一般の方にもこの講座に多数参加してサポーターになっていただくことです。  
(健康づくり委員会委員長 小山 英雄)

## 研修会開催される

ブの存在意義と魅力を作り出し、如何に会員増強に取り組むか。会員増強は老人クラブの永遠の課題です」と強調されました。

続いて小室副会長から区老連の組織、会長としての心構えについての説明がありました。

老人クラブの目的は、高齢者が住み慣れた地域で仲間づくりや健康づくり、地域づくりや社会づくりを進め、元気で明るい地域社会の創造が老人クラブの活動を推進します。とりわけ、老人クラブ存続のためには、会員増強＝若手会員の加入が必須です。

活動としては、一人暮らしの安否確認、新しい仲間づくり、文化(短歌・俳句・習字等)、健康(ラジオ体操・ノルディックウォーキング等)、奉仕(公園の清掃等)の活動が中心です。

新会長みなさまのご健康とご活躍を期待しております。と結ばれました。

その後、新任会長の自己紹介および「新会長になったの思い」の発表があり終了しました。

(編集委員 石田 英雄)



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

# 友愛活動勉強会について

老人クラブは「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んできました。過去3年間コロナ禍にあり、散々に脅かされ外出、会合、運動会全てが控えめでした。中でも友愛活動は同じ世代を生きてきた者同士の心と心のつながりを基にした活動であります。コロナ禍の規制緩和に伴い、友愛活動の勉強会については、試行錯誤の繰り返しの末、「ブレインストーミング」(自由に発言するという意味)で行いました。各クラブから1名の参加を依頼し、遠慮の無い発言の場所を設けました。今回は事前に拡大委員会等でのリハーサルを行い、各班長に理解を深め



ていく勉強会にしました。過去には委員会は一方向的に話をし、伝える場だった様に思います。心と心をつなぐ友愛活動は、新しい勉強会を機に心の通いあう、キャッチボールで、成功を収めたいと考えます。

(友愛活動委員会委員長 齋藤 年江)



## 友愛活動委員長に 就任して

友愛活動委員長  
齋藤 年江

友愛活動に際して、最も大切な私のモットーは、高齢者同士が対等の友人として信頼関係を築くことだと思っております。そこで「してあげる」ではなく「共に生きる仲間として支えあう」私はこの気持ちを大切に思っております。この思いに基づいて無理せず一つ一つ腰を据えて参りたいと思います。人生100年の長寿社会においては夢中で遊ぶ、それは人生を豊かにしてくれます。一生懸命自分らしく。よろしく願い申し上げます。

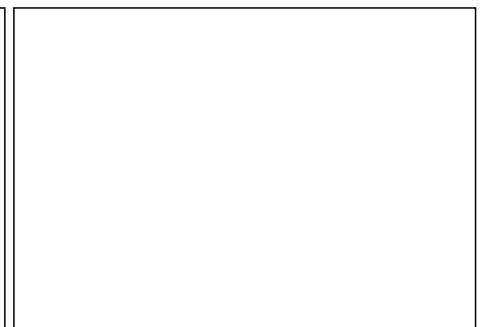
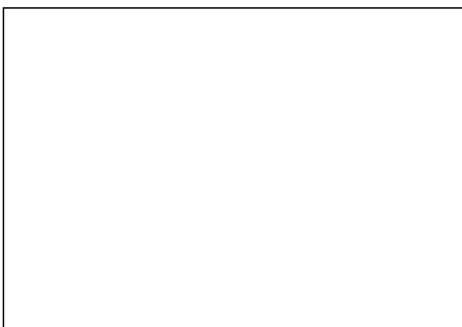
## 新任単位クラブ会長

8月10日(木)区老連会議室で開催されました。新任会長14名。出席者は男性9名、女性4名。欠席1名。

川本事務局長の司会で、区老連役員の紹介があり、日向会長の挨拶「高齢者人口は増加しているのに、老人クラブの会員数は漸減の傾向です。健康・友愛・奉仕の三大目標を前提に老人クラ



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています





コロナ禍の影響で、皆さまと暫くお会いできなかった中、令和5年11月17日(金)、鶴見公会堂での開催がようやく実現しました。このイベントでは、各地区代表の女性委員たちが着物から「ムササビコート」を製作・披露しました。

参加者たちは思い出の着物を丁寧にほどこき、その生地を使って自分らしいコートに仕立てました。このプロセスは、個性豊かなコートを生み出すことだけでなく、大切な思い出や伝統の価値を再評価する機会ともなりました。

特筆すべきは、コロナ禍で外出が難しい状況下で、母親が着ていた大島紬の着物をほどこいて、新しいコートに仕立て直したり、江戸褌をロングドレスに再仕立てし、婚礼に出席した時のことを思い出しながら舞台に立てたことに、製作者たちは着物や伝統の力強さ、そして母から娘へと受け継がれたことを喜んでおられました。

今後も女性委員会は仲間づくりを大切にしながら、リフォームの楽しみを共有し、コミュニティを一層結びつけていく考えです。

(女性委員長 高橋 豊子)



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています





# あれ・これショー



## ノルディック大会



女性委員会主管のノルディックウォーク&ウォーキングがスポーツ委員会の協力を得て、12月4日(月)三ツ池公園で開催されました。

今回も内回り1.5キロの一般コースと、外回り2.2キロの健脚コースの二つの異なる経路が用意され、高橋委員長の挨拶のあと参加者は元気いっぱい思い思いのコースを出発しました。

一般コースが人気で、三ツ池公園は、春は桜の名所、秋には雑木林の木々が色づいて紅葉の名所となり、上の池と中の池周辺のイチヨウが色づき、花の広場やコリア庭園のカエデが色づき晩秋の雑木林はなかなか風情があり参加者たちに癒しと感動を提供しました。

この大会の目的は、健康づくり、仲間づくり、介護予防です。

この催しが少しでも皆さまの健康寿命を延ばす一助となれば幸いです。

(女性委員 山内 秀子)

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



# 健康づくり部会

令和5年度、かがやきクラブ鶴見「秋季三大スポーツ大会」が10月11日(水)から開催されました。ねんりんピック(2024年度 第36回鳥取大会)1次予選を兼ねた大会は各競技共、初戦から白熱した戦いが繰り広げられました。ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ競技上位者(チーム)に「博報社」から副賞が贈られました。

## ゲートボール



優勝	上末吉寿会	(上末吉)
準優勝	上末吉要会	(上末吉)
第3位	鳥樹会A	(市場第二)
	朝日町クラブ	(潮田東部)

## ペタンク



優勝	下末吉D	(下末吉)
準優勝	潮見橋C	(潮見橋)
第3位	生麦第二B	(生麦第二)

## グラウンド・ゴルフ



第4位 準優勝 優勝 第3位 第5位

打数 H/W

優勝	吹越優弘(上末吉)	54	③
準優勝	中村哲夫 (豊岡)	56	①
第3位	川嶋春子(上末吉)	61	①
第4位	古賀恭之(上末吉)	62	②
第5位	山本満州男(矢向)	62	①

## ゲートボール大会

10月11日(水) 佃野公園運動広場

大会はゲートボール連合共催6チームが参加。決勝トーナメント準決勝に勝ち上がったチームは常勝「上末吉寿会」、春季大会優勝「朝日町クラブ」、躍進目覚ましい「鳥樹会A」、「上末吉要会」の実力伯仲した4チーム。準決勝、決勝戦は見ごたえのある好勝負で戦略とテクニックで勝った上末吉寿会が優勝を飾り、大会を盛り上げま

した。優勝「上末吉寿会」、準優勝「上末吉要会」、2チームは市老連大会出場権を得ました。

尚、上末吉寿会は2022年の神奈川大会に続き、ねんりんピックえひめ大会2023ゲートボール交流大会に出場。全国から117チーム参加し上末吉寿会チームは予選リーグ戦全勝通過。決勝トーナメント戦で残念ながら初戦敗退でした。



私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

# ペタンク大会

10月19日(木) 佃野公園運動広場

大会は32チーム参加し8ブロックより1位チームが決勝トーナメントに進出。春季ふれあい大会優勝、準優勝、3位チームの小野町、諏訪坂A・Bチームは予選敗退し、波乱の大会となりました。

ベスト8には佃野白寿会、上末吉とぎわ会、生麦第二A・B、生麦第一、鳥樹会A、潮見橋C、下末吉Dの各チームが準々決勝から決勝戦、3位決定戦まで、いずれの試合も一投ごとに形勢が二転三転し、レベルの高い試

合展開。

優勝は近年、躍進目覚ましい下末吉Dチームが栄冠を獲得。優勝、準優勝チームは市老連大会の出場権を得ました。



# グラウンド・ゴルフ大会

11月10日(金) 三ツ池公園多目的広場・野球場

三大スポーツで唯一の個人競技です。愛好者も多く136名(不参加者8名)の参加で開催されました。



グラウンド・ゴルフの魅力はホールインワンを達成した時で充実感、満足感に浸る一瞬です。競技で大事なことはスコアを正しく、間違いなく、記入することです。スコアを過少申告した場合は失格扱いとなります。

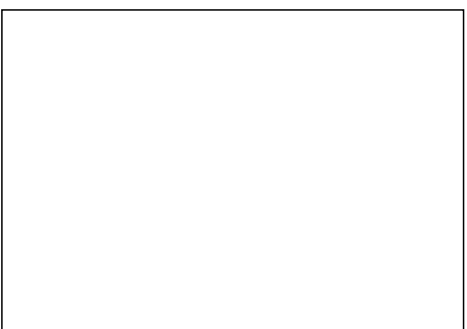
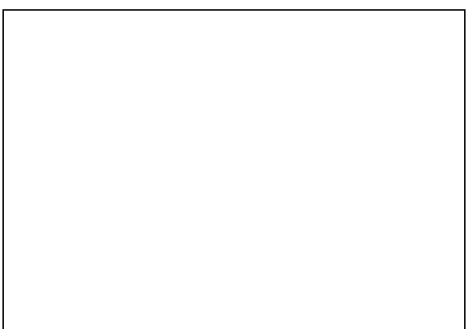
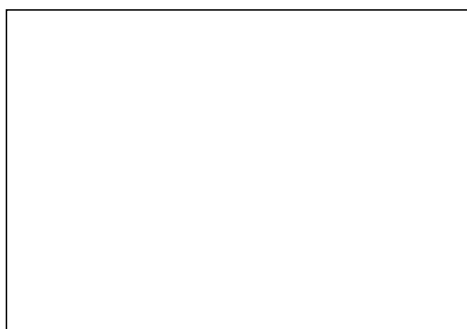
大会はグラウンドの状態が多少凸凹で競技者はスコアメイクに苦戦されたようですが、芝の状態は良好でホールインワン総合計が43本達成。成績結果はホールインワン3本、打数54、上末吉地区の吹越優弘さんが見事優勝を飾りました。5名の方は市老連大会の出場権を得ました。



文／編集委員 平野 宣雄

写真／編集委員 荒井 康夫

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



### 獅子ヶ谷市民の森

横浜市が山林所有者たちの協力をえて、昭和 50 年に市民の憩いの場として開設した 18.5ha の森の中に山桜、榎、樟などの大木が生い茂る。遊歩道や灰ヶ窪、旭台、新池、西谷、下谷の 5 つの広場、西谷の噴水池から横溝屋敷前までのせせらぎの小径などが整備されている。かつて天然水を作っていた製氷池もある。

兜塚から獅子ヶ谷市民の森まで、緑の多い丘陵の尾根伝いの 4.5km の散策路。江戸時代の鎌倉街道下の道のルートであったとも伝えるコース周辺では遺跡や古墳などが多数発掘されている。



#### 車地蔵

享保 3 年建立。堂の左側の柱に小さな木車を取り付けられている。峠道を通る人たちがこの車を回したことから車地蔵と呼ばれるようになった。

#### 天然水池

#### 神明社

#### 二ツ池

#### 二ツ池公園

江戸時代から獅子ヶ谷村と駒岡村の田畑を潤してきた灌がい用水池。もとは一つの大池が、元禄 8 年に中央に堤を築いて村境として 2 分した。堤を龍になぞらえた龍神伝説がある。昭和 45 年に灌がい用水の役割を終えた。多様な生物共生の自然環境保全のため平成 28 年、東側の池が公園として整備された。



#### 県立三ツ池公園

江戸時代に農業用水池として整備された 3 つの池を中心に豊かな樹林が囲む総合公園。1600 本以上の桜で「日本のさくら名所 100 選」。四季を彩る草花や野鳥のさえずりが疲れた心を癒してくれる。下の池のほとりに江戸時代、池を整備した藤原増肥が詠んだ「千町田に引くともつきじ君が代の恵みも深き三ツ池の水」の歌碑、中の池近くには秋元不死男の句碑「この池の愛蔵の水温みけり」がある。韓国庭園や空を飛ぶ天馬像が神奈川県と韓国や中国との友好から設置された。



三ツ池の水歌碑

#### みその公園 横溝屋敷

茅葺の長屋門・主屋・蚕小屋・文庫蔵・穀蔵などが江戸時代の豪農の屋敷構えを伝えている。主屋 2 階や穀蔵に民俗資料を展示。屋敷林に囲まれた豊かな自然の中で七草がゆ、ひな祭り、七夕祭り、お月見竹灯ろう祭りなど四季折々の行事が行われている。



#### 五輪供養塔

梶山陸橋を渡り三ツ池公園の遊びの森入口手前にある寛政 8 年建立の石碑群。それぞれに梵字を刻み、地・水・火・風・空の五大を表している。梶山の旧鎌倉道沿いにあったが区画整理で昭和 63 年に移設された。



#### 五輪供養塔

#### 天馬像



不死男句碑

#### かぶと塚ふれあいの樹林

兜の形をした 6 世紀頃の古墳跡の「兜塚」碑は、江戸城を築いた太田道灌が川崎の加瀬の台地に支城を築こうと視察に訪れた夜、白鷺が道灌の兜を鶴見川対岸の丘に落とす夢を見たという伝承がある。2ha の樹林の中に駒岡浅間神社がある。

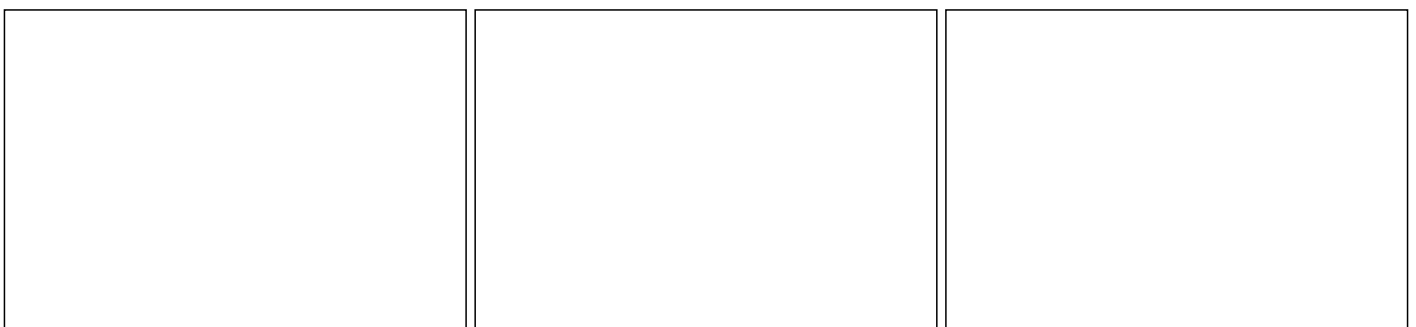


#### 兜塚

#### 上末吉

編集委員 / 齋藤美枝

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



# カラオケ大会

後援 鶴見区役所



## 第11回かがやきクラブ鶴見カラオケ大会

第11回かがやきクラブ鶴見カラオケ大会が8月23日(水)、鶴見公会堂で開催されました。鶴見区老連日向会長の挨拶に続き、鶴見区役所 高齢・障害支援課 高橋課長より祝辞をいただいた後、ほぼ満席の観衆を前に29名の出演者による、素晴らしいのどが披露されました。

例年の如く、甲乙つけがたい熱唱が繰り広げられ順位を決めるのに苦

労されたと、矢嶋審査委員長の講評がありました。優勝、準優勝、3位、特別賞に賞状と記念品が贈られました。

優勝は、潮見橋の對馬正一さんで、「あじさい情話」を歌われ、久々の演歌での快挙でした。準優勝は鶴見中央の林チズさんで、「じょんから女節」を歌われ、年齢を感じさせない声の張りが見事でした。3位は市場第二の小船三太郎さんで、「恋の酒」を歌われ、高い声が苦も無く出されて驚かさ

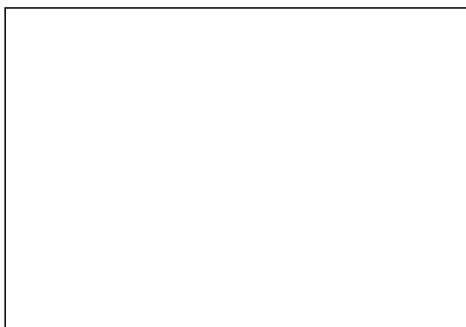
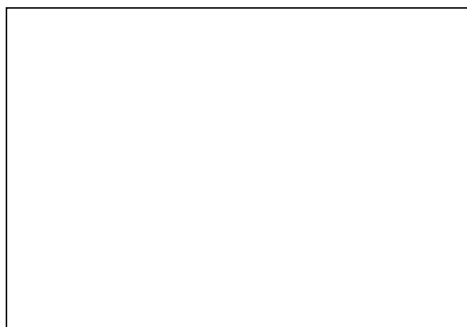
れました。特別賞として市場の八鍬梅雄さんが「南部蝉しぐれ」を歌われ、受賞されました。優勝者は12月開催の横浜市老連カラオケ大会に出場しました。審査の間に、前回の優勝者、志田ヨシエさんが特別出演し「河内おとこ節」を、明るく快活に歌っていただきました。

文化活動委員長の閉会の辞で締めくくられ盛況のうちに幕を閉じました。



文 / 編集委員 安藤 嘉昭  
写真 / 編集委員 荒井 康夫

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています



# 「お終活」人生、 百年時代の過ごし方



今回の映画上映会は過去のデータ上最高入場者数1,211名に鑑賞していただきました。私たちの年代で一番気になるところの「終活」に関心が高く、今後のことが心配になります。終活ってそもそも何をすればいいの？家族や友人に迷惑を掛けたくない。昭和の時を背負ったまま、それを頭の隅に置いた生活を、熟年離婚や枯れ落ち葉などの流行り言葉に翻弄され、その経緯のまま目標や生きがいをたてているそんな時代、スカッとしました。面白かった!!

熟年離婚寸前の夫婦が、葬儀社の営業マンから紹介された終活フェアをきっかけにてんやわんやの大騒ぎ。「熟年の青春＝熟春」を明るく迎えるために人生整理に動き出す。家族の騒動をコミカルに描いた【フン・フン】【そうだ・そうだ】【どうなるの】が銀幕？の中で繰り広げられる、後味の良い映画だったと思います。

終活は人それぞれで良いのです。今のままでも良いのです。人が亡くなるというのは、生きていた時に積み上げて来たものを一度に手放すということ。終活とは一度の人生を振り返ってみて、新たな人生に向かっての手段でもある。人生百年時代と言われている今、残された長い年月を如何に楽しく暮らすかが、重要になります。外に出て色々な外気に触れて新鮮な気分になって思い出づくりをしましょう。ファイト!! 熟春 (女性委員 流石 悦子)

## 会員文芸

### 短歌

一日を疲れてをらむ 青年に  
目礼しつつ 席を譲らる  
東寺尾第二福寿会 石田恵美子

### 俳句

晩額は心の糧と桐の花  
東寺尾第一福寿会 伊藤とき

冬ぬくし嫁の持ちくるプレゼント  
東寺尾第二福寿会 田中裕子

夫の臭い空っぽの席日向ぼっこ  
東寺尾第二福寿会 岡博子

知りたての秋天一碧目がさえる  
梶山長生会 立花道子

生牡蠣に潮騒聞こえ年明け  
岸谷第二親友クラブ 石田英雄

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--

## これからの催し

1月	10日(水)	機関誌「悠悠」第45号発行
2月	13日(火)	第22回映画上映会「未定」 (鶴見公会堂)
	27日(火)	第48回囲碁大会
	28日(水)	第48回将棋大会
3月	17日(日)	第15回シルバーフェスタ
4月	3日(水)	令和5年度補助金申請締切日
5月	中旬	ふれあいゲートボール大会
	下旬	ふれあいペタンク大会
	下旬	令和6年度シニア大学 一般講座開講
6月	上旬	日帰りバス研修会
	上旬	ふれあいグラウンド・ゴルフ大会
	上旬	令和6年度鶴見区老連総会

## 編集後記

今回号(第45号)の機関誌「悠悠」の編集準備を始める7月に入るところ、出版社より基本的な編集方針の変更申し入れがあり、原稿は期日指定で一括受け渡しになりました。

りました。

この方針変更に伴い、開催時期の迫った区老連内の各事業・研修会・イベント等の原稿準備、及び校正作業を急ピッチで進めるため、編集委員全員が多忙を強いられることになりました。

同時に、横浜市老連60周年記念誌発行に伴う鶴見区老連関係の原稿作成も重なり、事務局の協力を受けながら相当な緊張感と頑張り味わう貴重な体験をしました。

機関誌編集委員の頑張りをご理解のうえご覧いただければ幸いです。  
(編集副委員長 荒井 康夫)

## 編集委員

- 田中 正昭 (編集委員長)
- 桑島 昭雄 (顧問)
- 荒井 康夫 (編集副委員長)
- 石田 英雄 (編集副委員長)
- 平野 宣雄 (編集副委員長)
- 安藤 嘉昭 (編集常任委員)
- 鈴木 利彦 (編集常任委員)
- 斎藤 美枝 (編集委員)
- 流石 悦子 (編集委員)

## 投稿募集

- 旅行記、趣味のお話、随筆、俳句、短歌、川柳等。
- 文章は600～800字程度 記事に相応しい写真もいただけたら一緒にお送りください。
- 投稿作品をパソコンで作成された方はそのパソコンデータもお送りください。
- いただいた作品の加筆、削除、誤字訂正などの添削は編集委員にご一任願います。

- 次回(令和6年7月10日発行)の原稿は4月30日(火)締め切りとさせていただきます。
- 投稿原稿の受け取りにはミスのないよう注意しますが、なるべく所属会長経由でお届けいただけると助かります。

**鶴見区老人クラブ連合会事務局**  
kurouren@iaa.itkeeper.ne.jp

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--



# 4 北向き庚申塔

(写真／編集委員 荒井 康夫)  
(文 内井 寿久)



また寛保年間には「疫病」「火災」と数多くの災害に見廻れ、当時の將軍徳川吉宗は災害対応の政策を立案推進し、疫病対策に「小石川養成所」の開設、火災には「市民火消組」が組織され、数々の善政が実施された。

東寺尾一丁目に鎮座するこの庚申塔は、他の塚の設置方位と異なり、北向きに座している。解釈出来るのは寺尾・向谷村落は地理的に見て江戸の方角が陰陽道の方位から「鬼門」とされる北東方向に当たる。  
寛保2年(1742年)江戸で発生した災害(洪水・火災)を目の当たりに見聞し、村落を守るため陰陽道に従ってお地藏様の設置が住民の願いとなった。鎮座する石像を見るとあたかも「毘沙門天」を模した造像でまさに「北東方向」を守るよう設置の向きを北向きにされた。尚、寛保2年の災害記録を見ると関東・甲信越地方は「大型台風」の直撃を受けたこと、旧暦7月8月は「暴風雨」が頻発し江戸の三大河川が氾濫、下町一帯が水没、多くの市民が溺死した。

## ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報誌に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本誌は誌面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。

以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**【鶴見区老人クラブ連合会】**

私たちは鶴見区老人クラブ連合会の活動を応援しています
